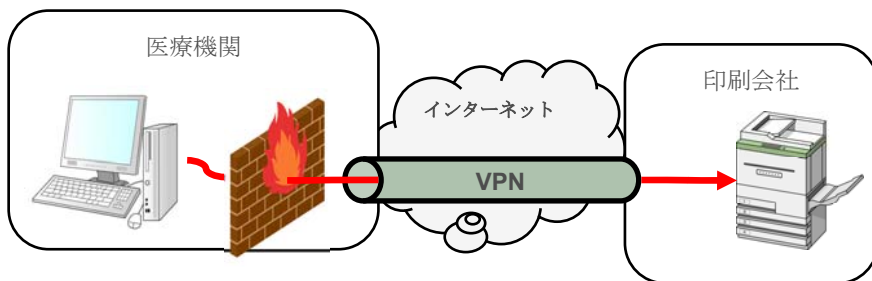


# 健診システムの印刷業務を外注化

## VPNで印刷会社とネットワーク接続

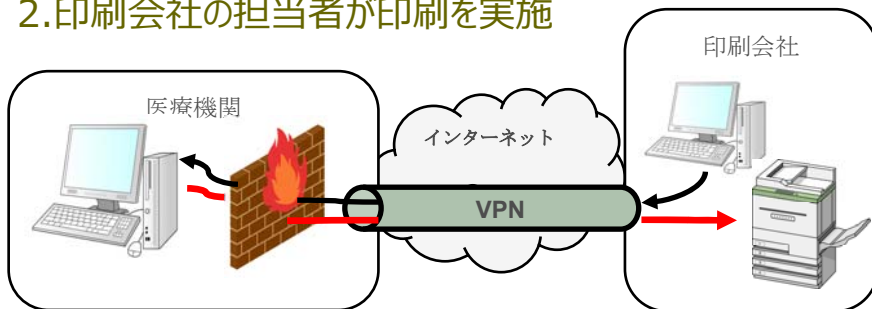
### 1. 医療機関の担当者が印刷を実施



医療費機関の担当者がVPN接続した印刷会社のプリンタに印刷する方式で現在の印刷環境と同様の運用が可能です。(印刷ボタンを押したら印刷会社のプリンターから印刷)

セキュリティを確保するためには、医療機関側のファイアウォールの設定を印刷データのみ(特定のポート)の送受信を許可により、外部からの侵入やデータの流出を防ぐことが可能。

### 2. 印刷会社の担当者が印刷を実施



印刷会社の担当がリモートで医療機関のコンピュータにアクセスし印刷を実行する方式です。

セキュリティを確保するためには、医療機関側のファイアウォールの設定をリモートアクセスポートと印刷データのみ(特定のポート)送受信を許可により、ある程度、外部からの侵入やデータの流出を防ぐことが可能だが、印刷会社からは常時個人情報参照できるため完全なセキュリティの確保は難しい。また、Windowsのアクセス制御を厳密に実施しないとコンピュータウイルスに感染させられる危険性があり同様にWindowsUpdate等の最新環境を維持する必要もある。健診システムをインターネットと切り離れた環境で運用されている場合はお勧めできない。

「印刷の外注化」についてお客様より問い合わせが発生するようになり、弊社の印刷の外注化に対する考え方をまとめました。

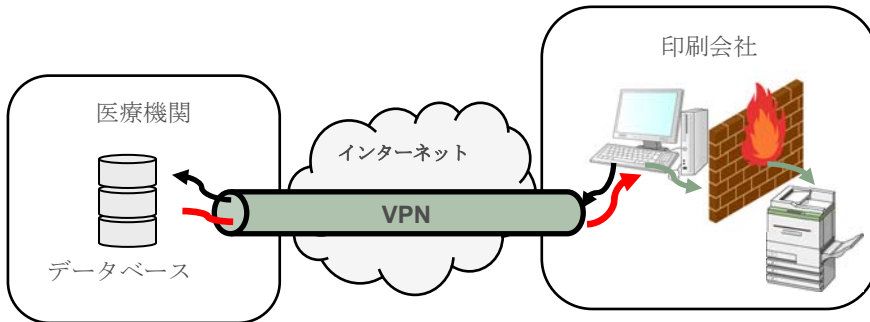
大きく分けて4種類の接続形態がございます。

- アプリ株式会社 山田雅勝

## ポイント

- セキュリティの確保
- 印刷業務の簡略化
- 定期的な送付状況確認
- 印刷請求額の検証

### 3.印刷会社PCにシステムを入れ担当者が印刷を実施

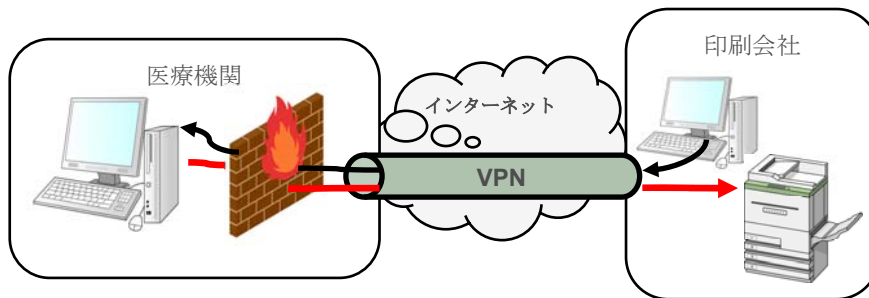


印刷会社に健診システム端末を設置し印刷を実行する方式です。

セキュリティを確保するためには、印刷会社側の社内ネットワークにファイアウォールを設置し印刷データのみ(特定のポート)送受信を許可により、ある程度、外部からの侵入やデータの流出を防ぐことが可能だが、パソコンが印刷会社に存在するために完全なセキュリティの確保はかなり難しい。また、Windowsのアクセス制御を厳密に実施しないとコンピュータウイルスに感染させられる危険性もある。

しかし、弊社システムの「健診送付管理」機能が利用できるため、発送前にすべての書類のバーコードを読み書類の誤送や漏れを伏せくことが可能です。

### 4.専用のプログラムを作成し印刷会社が印刷を実施



弊社が印刷会社用に印刷ボタンのみの専用プログラムを作成し、医療機関

では印刷会社から印刷ボタンを押したかを監視し、押された場合は、溜まっているデータを印刷会社のプリンタへ印刷する方式です。

セキュリティを確保するためには、医療機関側のファイアウォールの設定を印刷開始ポートと印刷データポートのみ送受信を許可により、外部からの侵入やデータの流出を防ぐことが可能です。

ただし、現在のシステムでは、印刷対象の蓄積機能が無い為、この部分の追加開発と印刷会社と連携した印刷プログラムの新規開発が必要になります。また、弊社と印刷会社とでメンテナンス用の弊社指定インターネットVPNも必要になります。

## その他検討事項

#### ・定期的な送付状況確認

印刷会社が適切に書類を送付しているかの確認の手段として月に1度ほど医療機関の任意の担当者宛にダミーの結果報告や案内を送付し内容の確認をする必要性の検討など。

#### ・印刷請求額の検証

印刷会社から届く請求額の検証用に印刷指定した件数の集計一覧などの検証画面の必要性の検討。

## お問い合わせ先

当社のサービスおよび製品の詳細についてお気軽にお問い合わせください。

#### アプリ株式会社

〒501-6231 岐阜県羽島市  
竹鼻町神楽3288-1

058-393-0101

info-m@apli.jp

Web サイトをご覧ください:

www.apli.jp